

まちづくり

町政執行方針



厚岸町長
三浦克宏

重点施策と予算状況

一年間のまちづくりの方針を示すのが町政執行方針です。

そして、それを実行するために必要なのが予算です。

その内容を審議する町議会第1回定例会が3月11日から16日まで開かれ、予算案などが議決されました。

今月号では、三浦克宏町長が初日に行った町政執行方針、滝川敦善教育長が行った教育行政執行方針、そして令和8年度予算の概要をお知らせします。

はじめに

本年2月、本町出身の佐藤綾乃さんが、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックにスピードスケート日本代表として3大会連続で出場し、女子団体追い抜きで見事に銅メダルを獲得したほか、個人種目でも1500メートルと、マスタートで粘り強い走りを見せ、私たちの心に大きな感動を与えてくれました。

私も実際に現地向け、佐藤選手のその勇姿と歴史的な瞬間を目の当たりにいたしました。この地、厚岸町に生まれ育ち、オリンピックという大舞台で挑戦を続ける佐藤選手の姿は、町民一人一人が自らの可能性に挑み続けることの大切さを私たちに示してくれました。私は、この誇りある姿を町政に重ね、厚岸町をだれもが夢と希望を持って暮らすことができるまちにしたい、という決意を新たにいたしました。

さて、私は、昨年7月13日、町民の皆さんの温かいご支援とご支持を得て、厚岸町長に就任し、早くも7カ月が経過いたしました。

これまで24年という永きにわたり、厚岸町の舵取り役としてご尽力されてきた若狭靖前町長から引き継いだこの職責は、町民の皆さんからの『まちの未来を託す』という、非常に重

いご負担であると認識しており、その負託に応えるため、私は、常に町民の皆さんの声に耳を傾け、その想いに寄り添う町民目線を何より大切にしながら、日々の職務にあたっております。

本年度は、昨年11月末から進めている『町長が行く！みんなでスマイルトーク』をはじめ、私が町長に就任して以来、最も力を注いできた町民の皆さんとの対話をさらに充実させるとともに、いただいたご意見、ご要望を施策に確実に反映させることで、『町民参加のまちづくり』を町民の皆さんの目にも見える形で進め、その成果を実感していただけるよう、全身全霊で職務に邁進する所存であります。

町政に臨む基本姿勢

本年度は、先に申し上げた『町長が行く！みんなでスマイルトーク』や自治会要望などを踏まえ、町民目線はもとより、常に新しい発想で、より良いものを追求する『挑戦』の姿勢をもって、次の三点を重点施策として、町政を推進してまいります。

一点目は、『基幹産業である漁業と酪農の振興』であります。厚岸漁業協同組合や農業協同組合からの要望を踏まえ、道営事業による厚岸漁港湖北地区道有地の嵩上げ

『町民参加によるまちづくり』を一段と加速させながら、町民の皆さんとの約束を果たすため、全力を尽くしてまいります。

主要な施策の推進

『第6期厚岸町総合計画』の5つの将来像に沿って申し上げます。

自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち

将来像の一点目は、『自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち』であります。

環境保全については、『第2期厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画』に基づき、町民、事業者との協働による厚岸町クリーン作戦などの取り組みを引き続き実施するとともに、海洋プラスチックごみ対策として、厚岸漁業協同組合と連携し、海岸漂着ごみや漁業者が操業中に回収した漂流・海底ごみの適正な処理を引き続き進めてまいります。

地球温暖化対策については、再生可能エネルギーの適地誘導と、豊かな自然環境の保全を目的とした『厚岸町再生可能エネルギー促進区域等ゾーニングマップ』に基づき、本町が定めた『促進区域』内へ、地域と共生した再生可能エネルギーの導入を促進してまいります。

や、農業用機械の整備をはじめ、ハードとソフトの両面において必要な支援を行うことで、さらなる振興を図ってまいります。また、今後の町財政をはじめ、まちの未来を左右する重要な施策である、ふるさと納税の拡大に向けた取り組みについても、返礼品の魅力向上やSNSを活用した効果的な情報発信の強化など、返礼品の協力事業者はもとより、厚岸漁業協同組合や農業協同組合とも連携を図りながら推進してまいります。

二点目は、『暮らし、過ごし、働きやすい環境整備』であります。

まず、身近な関わりとして、保健師や管理栄養士が各地域において地域訪問や健康相談を行うための体制をさらに強化してまいります。

さらに、町民サービスのさらなる利便性の向上を図るため、スマートフォンでの行政手続きを可能としていく町民向け行政アプリの導入を進めるとともに、近年の猛暑に伴う熱中症対策として、町立小中学校や老人福祉施設、町立厚岸病院をはじめとする各公共施設への空調設備などの導入を進めるほか、移住・定住の促進を図るため、新たな支援制度の創設・拡充してまいります。

三点目は、『安全・安心に楽しく遊べる場所づくり』であります。町内に点在する公園のうち、先行的な整備を実施する公園として、『梅

エネルギーの有効利用については、環境負荷低減に向け、役場庁舎および畜場において、液体燃料の完全燃焼を促す触媒を導入するとともに、各公共施設などにおいて照明のLED化を順次進めてまいります。

また、環境意識の醸成を図り、環境への負荷の少ないまちづくりを推進するため、町民、事業者を対象として、脱炭素や気候変動をテーマに啓発事業を実施してまいります。

水道事業および簡易水道事業については、経営の健全化を図るため、適切な水道料金に見直すとともに、将来にわたり安定的な事業経営を行うため、経営戦略の見直しを行います。

